

HOW TO KNOW YOU'RE SAVED
自分が救われているかどうか、どう知る？

Pastor Robert Breaker

クラウドチャーチへようこそ。英語とスペイン語で伝道しています。ロバート・ブレイカーです。今日はある質問への答えとして、この動画をお送りしています。

「自分が救われているかどうか、どうすれば分かるのですか？」

多くの人が疑問に思っていることです。ボクが伝えたいのは、「救いは自分でわかる」ということです。救われれば、自分でわかります。つまり、救いとは自分でそれを知っているかどうかです。多くの人がこんなことを言っているのを耳にします。

「〇〇さんは救われているのに、自分でわかっていないんだ」

何？ナニ？え？

そんなおかしな話はありません。

聖書には、救われることについて二通り書かれています。一つは結婚。救われるとは、キリストと結婚することです。自分が結婚しているか分からない人がいますか？これをご覧になっている人で、結婚している方は、誰が自分の妻で、自分が結婚していることはわかっているでしょう？または、自分の夫の名前や、それが誰であるか知っていて、そして、自分が結婚していることを知っています。また、生誕にも例えられ、救われるということは、霊的に再誕するということです。「私は生まれたのかしら？」と思いながら、そこら辺を歩いている人はいないでしょう？

「ボクは生まれたのか？」

「私はここにいるの？」

生まれて来たなら、自分で分かります。そして、救われたのなら、自分で分かります。自分が救われているかどうか、疑う余地はありません。それでも、こんにち多くのクリスチャンが言います。

「自分が救われているかどうか、どうすれば分かるんだ？」

そして、多くの人が不安になっています。疑問に思うのは、とても良いことです。でも、分からないなら、知らなければなりません。ということで、これが今日のメッセージです。

「救われているかどうか、どうすれば分かるのですか？」

まずは、第一ヨハネ 5:13 から。残念なことに、教派によっては、

「死ななければ、自分が救われているかどうかは分からない」

なんてことを言うところもあります。しかし、それは聖書の内容とは異なります。

13 私^が神の御子の名を信じているあなたがた^に対してこれらのことを書いたのは、あな

**たがたが永遠のいのちを持っていることを、あなたがたによくわからせるため
です。**

(第一ヨハネ 5:13)

つまり、永遠の命を持っていることは自分で分かると、聖書に書いてあるのです。だから、答えは「YES」、自分が救われているかどうか知ることができるのです。救いとは知識であり、何かを知る事であり、自分が知っているものを信じることです。では、それは何なのか？もう少し読んでみましょう。第一テモテ 2:4

4 神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。

(第一テモテ 2:4)

神は、皆が救われることを望んでおられます。つまり、救われるには、何かを知る必要があります。救われるためには、何かを知る、何かを理解しなければなりません。でも、現在、多くのクリスチャンがこのことを理解していません。だから、多くの牧師が、いわゆる「血のない福音」を宣べ伝えているのです。

彼らは人々に「私の後について祈ってください」と言い、そして、

「これを祈ったから、あなたも救われました」と言う。彼らは、祈りによって救われると伝えています。聖書にそう書いてありましたか？祈りでは誰も救われません。救うのは、イエス・キリスト。福音を信じる事によって救われるのです。ですから、救われる前に福音を知らなければなりません。これまでに、多くの人がボクのところに来て、こう言いました。

「私はずっと、自分が救われていると思っていました。」

「でも実際は、イエス・キリストが私のためにしてくださったことではなく、ただ自分の祈りを信じていたんだと気づきました。」

これが問題なのです。と言っても、祈りを否定しているわけではありません。そうではなく、救われた瞬間、祈ることは出来ず。でも、祈りそのものがあなたを救うではありません。まず第一に、知識、理解することが必要で、そして次に、何を信じるのかを知る必要があります。第二テモテ 3:15 を見てみましょう。ここでは、パウロが救われた若者に対してこう言っています。

15 また、幼いころから聖書に親しんできたことを知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えて、キリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることが出来るのです。

(第二テモテ 3:15)

つまり、救いには知識が伴います。だから、この質問なのです。

「救われているかどうか、どうすれば分かるのですか？」

あなたは知る必要があります。どうすれば知ることが出来るのでしょうか？知識が必要なのです。自分が救われていると知るための知識は、どこからくるのでしょうか？答えはここに書いてあります。「聖書」からです。次にルカ 1:76~77 を見てみましょう。

76 幼子よ。あなたもまた、いと高き方の預言者と呼ばれよう。主の御前に先立って行き、その道を備え、

77 神の民に、罪の赦しによる救いの知識を与えるためである。

(ルカ 1:76~77)

ここはバプテスマのヨハネについて書かれています。バプテスマのヨハネは、イエスの前に道を整えるために来て、ユダヤ人に宣教しました。ただ、面白いのはここで「救いの

知識」と書かれていることで、つまり、救いとは、知識を通して与えられるもので、何かを知り、自分が知ったものを信じる事。では、何を知らなければならないのでしょうか？

①あなたは自分が迷い出ていると知る必要がある。

今の世の問題は、多くの人が「救い」の意味を知らないことです。「救い」とは、罪が赦され、死後、天国へ行けるということです。「迷い出る」とは、地獄へ行くことを意味し、地獄に向かっているという事です。あなたはどちらですか？自分が迷い出ていると気づいたのは、いつですか？多くの人が周りの人に「救われていますか？」と聞きます。特に、迷い出た人たちに対して、多くのクリスチャンがよく聞きます。

「あなたは救われていますか？」

「いつ救われたの？」

でも、ボクが気付いたのは、多くの人がその意味を分かっていない事です。以前、いここに「いつ救われたんだい？」と聞いたら、

「俺はパイロットで、この間飛行中に、あれは怖かった！燃料がなくなって来て、緊急連絡をしたんだ。結局、無事着陸出来て…あの日、神様が救ってくれたんだ。」

ボクは聞きました。

「『いつ救われたんだ？』の質問の意味が分かってる？君の話は、神様が君の命を死から救ってくれたということだよな？」

「そうそう、あの日、神様が死から救ってくれたんだ。」

そうじゃない！いつ救われたのか？というのは、霊的な意味の救いで、肉体的な話ではあ

りません。

「神様が、君の魂を救ってくれたのは、いつなんだ？」と聞いたら、いとはフクロウのように目をパチパチさせて、

「どういう意味だ？」

このように、その辺で人に「救われていますか？」と聞くと、迷い出た人たちには何の事だか分からない。だから、ボクはその代わりにこう聞くんです。

「迷い出たことに気付いたのはいつですか？」

「いつ迷い出たの？」

「いつ救われたの？」と聞く代わりに、「いつ迷い出たの？」と聞くのです。そうすると、人は怪訝そうな顔をして、

「迷い出るって、何なんだ？」

「つまり、君は迷い出ている、イエス・キリスト無しで地獄へまっすぐ向かっているということだよ。イエス・キリストと、イエス・キリストが流した血、福音を君は信じていないから。君は死んだら地獄へ行くんだと気づいてる？」

多くの場合、人は自分が迷い出ていることに気づいていません。だから、救われる前に知るべき事は、まず自分が迷い出ていることに気付かなければなりません。

「なんとっ！私は迷い出ている、霊的な救いが必要だったんだ！」

②さらに知るべきことは、救いは働きによらず、信仰によるということ。

こんにち、多くのクリスチャンがこう考えています。

「これはボクの良い行い。こっちはボクの悪い行い。」

「神様がこの良い行いの方を見てくれれば、きっと天国へ行けるだろう。」

つまり、彼らの知識とは、

「ボクが頑張れば、神様は受け入れてくれる」

「だから、頑張れば良いことをすれば、たぶん天国に行けるだろう～フフフ！」

聖書はそんなことを教えていますか？人はその行いによって、天国へ行ける？全く違います。聖書には、キリストがしてくださったことによって、我々は天国へ行けると書いてあります。ただ、信仰によってのみです。だからもし、あなたが働きによって天国へ行けると思っているなら、あなたは自分を信じていることになります。イエス・キリストがあなたのために成されたことではなく、自分の行いの方を信じていることになります。聖書エペソ 2:8～9 で、このことに関しては大変はっきりと書かれています。

8 **あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。**

9 **行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。**

(エペソ 2:8~9)

このように、カルバリーの丘の十字架が全て、救い主が我々の罪のために死なれたのです。それ以前の旧約聖書の時代は、実に多くの働きをする必要がありました。その一つに、罪を犯せばその贖いのために、小羊をささげなければなりませんでした。それは大変な労働でした。なぜかというと、祭司が受け取るために、小羊の首を罪びとが剣でもって、かき切るのです。だから、旧約聖書の時代は、働きを要求されました。そして、教会時代の今は、働きではなく、あわれみによって救われます。ということで、救いの前に、自分が迷い出ていることを知らなければなりません。救いの前に、救いとは、自分の行いによるものではないと知らなければなりません。こんにち、多くの人が信じているのは、

「良い行いをしなければならぬ」

「良い行いをすれば、神様は受け入れてくださる」ということです。

彼らは、誰からこんなことを聞いたのでしょうか？これは聖書の教えではありません。聖書には、こうあります。

9 **行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。**

(エペソ 2:9)

何が悲しいかって、自称クリスチャンの多くが「クリスチャンとは何か」という事すら知りません。クリスチャンとは、キリストに従う者のことです。なぜか？それは、キリストが我々を救ってくださったからです。誰も自分を救うことは出来ません。自分でクリスチャンだと言いながら、自分の行いで天国に行けると思っているのなら、あなたはキリストに従っているではありません。あなたは自分の方法を通しているのです。あなたは、イエスがあなたのために成されたことではなく、自分の働きによって天国へ行こうとしているのです。テトス 3:5 にはこうあります。

5 **神は、私たちが行った義のわざによってではなく、ご自分のあわれみのゆえに、聖霊による、新生と更新との洗いをもって、私たちを救ってくださいました。**

(テトス 3:5)

これは、パウロが救われた者、クリスチャンとして救われた人に対して書いています。それによると、我々の働きではなく、あわれみによって救われるのです。イエス・キリストの働きによって、です。「イエス・キリストが成し遂げた働き」と書きましょう。主が、我々のために、我々の代わりに、十字架の上で成し遂げられたのです。言いたくはありませんが、こんにちあまりにも多くのクリスチャンたちが迷い出ています。なぜかと言うと、彼らの考えるキリスト教とは、「良いことをすれば、神様に受け入れられる」というものです。

もしそうなら、どうしてイエスは十字架にかかったのですか？もし、良い行いで天国に行けるのなら、どうして主は死んだのですか？無意味じゃないですか？主は、全世界の罪のために十字架にかかって死んだ？もし、私たちが主の御業を受け入れずとも、良い行いで天国に行けるなら、キリスト教に何の意味もありません。もし、救いが良い行いによるなら、我々が全てで、イエスには何の意味もなくなります。でも、聖書によると、我々には何の力もなく、イエスが全てです。なぜかと言えば、我々の行いは罪びとの働きで、

6 **…私たちの義はみな、不潔な着物のようです。…**

(イザヤ書 64:6)

我々は、罪びとのままでは天国へ行けず、天に行く前に、我々の罪は洗い流されなければなりません。でも、いくらシャワーを浴びても、我々の罪を洗い流すことはできません。唯一、イエスの血だけが、我々の罪を洗い流すことができます。だから、救いは我々の行いによらず、イエスが流した血によってのみ。イエスがカルバリーの十字架で、我々の対価を支払われたからです。ローマ 4:5~8 を見てみましょう。

5 **何の働きもない者が、不敬虔な者を義と認めてくださる方を信じるなら、その信仰が義とみなされるのです。**

6 **ダビデもまた、行いとは別の道で神によって義と認められる人の幸いを、こう言っています。**

7 **「不法を赦され、罪をおおわれた人たちは幸いである。**

8 **主が罪を認めない人は幸いである。」**

(ローマ 4:5~8)

ですから、もし良い行いで天国に行けるなら、イエスのされたことは何の意味もないことになります。そして、天国に入れるほどの善人なんていません。すると問題は、誰一人として、天国に行ける人はいません。たった一回の罪で、神は言います。

「あなたは、ここへは入れない。」

だから、一度罪を犯せば、残念ですが、どうやって償うのですか？何度旗を振ろうとも、何回自分で鞭打ったとしても、何回その罪の償いをしたとしても、あなたは依然罪びとであり、罪びとは天国に入れられないのです。大変です。神が受け入れてくださることを期待しながら、良い行いをして、一生を過ごすことも出来るでしょう。それでもまだ、何の意味もない罪びとに変わりはなく、神は罪びとを決して受け入れません。罪を洗い流し、神によって受け入れられる道は、たった一つ、それは何か？イエス・キリストの血の贖いだけです。唯一、イエス・キリストの死、葬られ、よみがえり、イエスが成されたことによ

でのみ、我々の罪が赦されるのです。主が成されたことであって、我々の行いではありません。我々は、働きによって救われるのではなく、信仰によって救われます。今でも、イエス・キリストを完全に無視する人たちがいます。彼らは、イエスが十字架で成されたわざを、完全に無視します。そして彼らは、旧約時代に逆戻りし、律法を守ることで天国に行けると思っているのです。それについて、聖書にはどう書いてあるのでしょうか。ガラテヤ 2:16 を見てみましょう。

16 しかし、人は律法の行いによっては義と認められず、ただキリスト・イエスを信じる信仰によって義と認められる、ということを知ったからこそ、私たちもキリスト・イエスを信じたのです。なぜなら、律法の行いによって義と認められる者は、ひとりもないからです。

(ガラテヤ 2:16)

つまり、あなたがどれほどの善人でも、どれだけ律法を守って、素晴らしい人であっても、残念。悲しいかな、あなたの働きでは、義と認められません。

なぜなら、律法の行いによって義と認められる者は、ひとりもないからです。

(ガラテヤ 2:16)

ご存知でしたか？自分の行いでは天国へ行けないと知らなければ、救われることができないのです。

ただキリスト・イエスを信じる信仰によって義と認められる、ということを知った

(ガラテヤ 2:16)

あなたはこれを知っていますか？これを知れば、律法では救われないと気づけば、それなら何によって救われるのか？

「ああ、イエス様は、救える。イエス様は死に、血を流されたんだ。」

ということで、救われるために知るべき事は、まず、自分が迷い出た者だと知らなければなりません。次に、良い行いでは救われないと知る事。救いは、信仰によってのみです。次なる疑問は、何を信仰するのか？答えは、福音を信じる事です。これから福音とは何かを見て行きます。

ローマ書 10:17 を見てみましょう。ボクの大好きな聖句です。

17 そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。

(ローマ 10:17)

良いですか？救われるには、まず自分が迷い出たことを知らなければなりません。次に、救いは働きによらず、信仰によってのみだと知ること。では、我々を救う信仰とはなにか？信仰はどこから来るのでしょうか？どうすれば信仰を得られるのでしょうか？突然飛び出してくるのでしょうか？

「わあ！いつの間にか救われた！」

いいえ。これはカルヴァン派の教えですね。ある日突然、神があなたを救う？

「わあ！救われた？」

聖書はそう教えていません。聖書にはこうあります。

17 そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。

(ローマ 10:17)

救われるためには、その方法が書かれているみことばを聞かなければなりません。だから、神の御言葉はとても大切なのです。我々に救いの知恵を授けるのです。では、信仰について、聖書にはどう書かれているのでしょうか？答えは、第一コリント 15:1~4 です。この動画は、救われている人、迷い出ている（信じていない）人、両方に向けています。自分ではクリスチャンだと思っても、いつも自分の救いが不安な人。だからこの動画を観て、自分が救われているのか、知りたいと思ったのかもしれませんが。でももし、あなたが迷い出たとしても、あなたが救われるために、この動画が役に立つでしょう。あなたが今まで一度も迷い出ていることに気付かなかっただら、あわれみによってもたらされる救いを、全く理解できなかったでしょう。あなたが聞くべき事は、

17 そのように、信仰は聞くことから始まり、…

(ローマ 10:17)

福音を聞かなければなりません。福音については、第一コリント 15:1~4 にこう書かれています。パウロは救われた人々に宛てて書いています。

- 1 **兄弟たち。私は今、あなたがたに福音を知らせましょう。これは、私があなたがたに宣べ伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって立っている福音です。**
- 2 **また、もしあなたがたがよく考えもしないで信じたのでないのなら、私の宣べ伝えたこの福音のことばをしっかりと保っていれば、この福音によって救われるのです。**

(第一コリント 15:1~2)

これが、救われる方法です！福音によって救われるのです。では次に、福音を聞いたこと

がなければ、どうしてそれを信じられるか？先ほど言ったように、ボクはこういう質問をよくします。

「あなたは、いつ迷い出たのですか？」それからもう一つ、よく聞く質問は

「初めて福音を聞いたのはいつですか？」もし、福音によって救われるのなら、福音を聞いたことがなければ、どうやって救われるのですか？だから、あなたの人生の中でも、これからボクがお話しする福音を誰かが伝えなければなりません。考えてみてください。最初に福音を聞いたのは、いつか？多くの人が、これまで福音について聞いたことがないのです。第一コリント 15:3 にはこうあります。

3 **私^があなた^がたに最もたいせつな^なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、**

4 **また、葬られたこと、また、聖書の示すとおりに、三日目によみがえられたこと、**

(第一コリント 15:3~4)

つまり、福音とは、イエス・キリスト、神が人となって、ボクの罪のために、ボクの身代わりに死んだ。他に誰がボクのためにこんなことをしてくれるのでしょうか？次に大事なのが、どのようにして？キリストが我々のために、ただ死んだのではありません。大事なのは、その死に方です。イエスは、我々の罪のために尊い血を流して死んだ。旧約聖書では、罪が赦されるためには、血の捧げものが必要でした。

22 **…血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはないのです。**

(ヘブル 9:22)

神は、血の注ぎ出し無しには、罪を赦されないのです。そして、イエス・キリストが現れ、十字架で死に、血を流された。その愛を示し、伝えるために。

「あなたを本当に愛している。だから、あなたの代わりに、私が死に、血を流すのだ。」

これは、天の神があなたを捕まえ、罪の代償として地獄へ放り込む代わりに、イエス・キリストがあなたの罪をご自身に引き受けることを良しとされ、そして神は、あなたが取った全ての悪い行いに対する全ての御怒りをが~~~~~とイエスの上に降り注いだのです。主が、それを受けられたから、あなたは福音を信頼し、地獄から逃れることが出来るのです。イエスがあなたに代わって、罪の代価を支払ってくださったから。これが福音のスゴイところです。あなたは、自分が良い事をすれば、天国に行けると信じて、死後、

「わたしが、あなたのためにしたことを拒んだので、天国に入る資格はない」

と神様に言われて、まっすぐ地獄に直行しますか？もしくは、気づいてイエスの元に行き、「イエス様、私は自分が罪びとであることに気づきました。私には自分を救えません。だ

から、あなたと福音を信じます。」

すると、神様は

「分かった。あなたは天国に行くための自分の行いではなく、私があなただのために成し遂げたことを信じたから、救われた」

と言います。問題は、多くの人自身が、自分の救い主になろうとすることです。

「ボクは良い事をしたから、天国に行ける。」

「私は正しいことをしよう。」

全て、自分。それは実に世を愛し、あなたを含む世のために死んだ、イエス・キリストの顔に、唾を吐く行為です。さあ、あなたはどうしますか？

「そんなものいらない！」

と言って、イエスの顔に唾を吐くか、もしくは

「私は今日、知識を得ました。聖書によれば、私は罪びとで、私は自分を救うこともできません。唯一の救いは、福音を信じることで、私は今日、その救いの福音を信じます」と言うか。これが、自分の救いを知る方法です。あなたは、イエス様が成されたことを知った。だからあなたは救われていると分かるのです。でも、行い側に住む多くの人たちは、ずっと自分の救いを知ることがありません。なぜなら、天国に行けるほどの善行など不可能だと、彼らは悟ることがないからです。だから、彼らはいつも願うのです。

「神様が、ボクの働きを受け入れてくださるように…」

でも、死んで裁きの座に行くまで、分からないのです。神の御言葉によると、その時、イエス・キリストがこう言います。

23 …『わたしはあなたがたを全然知らない。不法をなす者ども。わたしから離れて
行け。』

(マタイ 7:23)

「それは、あなたが自分の行いで天国に行こうとし、あなたを救うための、わたしの行いを信じなかったからだ。」

それが、こんにち、多くのクリスチャンの問題です。彼らは、救い主のところに行く代わりに、自分の力を信じています。以前、伝道でホンジュラスに行った時、カトリックの教会を訪れました。理由は忘れましたが、教会のドアをたたいて、祭司に

「お聞きしたいことがあるのです」

と言うと、祭司は

「お入りください」と言いました。

教会隣の住居で、祭司と座り、こう言いました。

「祭司様、ボクは単立バプテスト教会の伝道師ですが、祭司様に一つ、お伺いしたいことがあります。お聞きすることを、聖書の中からお答えください。」

その時点で、祭司はこんな顔（片眉つり上がった顔）をして、ボクを見ていましたが、ボクは言いました。

「質問は、あなたが救われていると、どうしてわかりますか？違う言い方をすれば、人が、自分が救われていて、天国に行くとは知ることは可能ですか？」

その祭司は、しばらくうつむいて、こんな感じで（腕組みをして…）それからボクを見て言いました。

「いいか？あなたの質問は馬鹿げている!!」

それから言いました。

「自分が救われているかどうかなんか、皆死んでみなけりゃ分からないんだよ！」

だから、ボクは言いました。

「祭司様、聖書の箇所をお見せしましょう。」

「いいや、あんたとはもう、話をしたくない！帰れ！」

と祭司は言いましたが、ボクは、

「いえいえ、聖句を一つだけ、お見せします。」

そして、第一ヨハネ 5:13 を見せたのです。

13 私が神の御子の名を信じているあなたがたに対してこれらのことを書いたのは、あなたがたが永遠のいのちをもっていることを、あなたがたによくわからせるためです。

（第一ヨハネ 5:13）

そして言いました。

「聖書には、永遠の命を持っていると分かるように書いてあるのに、あなたはそれは誰にも分からないという。どういう事でしょうか？これだけの人を導いている教会の指導者でありながら、自分がこの人々をどこへ導いているのかも分からないなんて。あなたは、自分の死後、どこに行くのかも分からない。言っておきますが、ボクは自分がどこへ行くのか分かりますよ。福音を信じれば、救われると聖書に書いてありますから。聖霊によってしるしを押しつけられ、ボクは自分がどこへ向かっているのか、知っています。みことばの權威によって、ボクには天国に純金の豪邸があります。聖書には、そう書いてあります。先生、ボクは自分が死ねば、どこに行くのか知っています。あなたも知りたくないですか？」

すると、彼は、

「出て行け！」だから、

「分かりました。お時間をありがとうございました。」

と言ってその場を離れました。でも、何と悲しい事でしょう。祭司、牧師、伝道師、いわゆる宣教師などなど、福音の働き手が世界に出て、

「良い事をしろ」「良い行いをしよう」「良いことをしましょう」と言い、キリストの福音

を伝えないのです。そして、彼らに直球で

「自分が救われているかどうか、わかりますか？」

と聞くと、彼らの答えは、

「さあ、誰でも死ぬまで分からないよ」

それは、聖書の答えではありません。聖書は、「救いを知れ」と教えています。

ボク自身が救われたのは、18歳のときでした。生まれてからずっと教会に行っていて、バプテスト教会、ペンテコステ派、単立派、メソジスト、長老派、母親にありとあらゆる教会に連れて行かれました。父親もまた、ボクを連れて様々な教会へ行きました。でも、ボクは一度も、繰り返しますが、一度も！それまでの人生で、たったの一度たりとも！福音が伝えられるのを聞いた覚えがありません。と言っても、彼らが伝えなかったと言っているではありませんよ？ただ、ボクの行った週には、伝えられなかっただけかもしれません。ともかく、ボクは18歳になるまで福音を一度も聞いたことがありませんでした。そして、初めて聞いた時には、頭で電球が光ったようでした。

「どうして、誰も言ってくれなかったんだ!？」

これまでの人生、天国に行くために、一生懸命頑張って、それでも不安で、座り込んで

「地獄へ行きたくありません!!!神様、どうすれば救われるのですか!？」

すると、神は福音をボクに与えてくださり、それを見た時のボクは

「良かった!!!天国に行くために、頑張らなくてもいいんだ!!!」

それらは全て、ボクのためにもう既に成されていて、ボクがすべき事は、福音を信じる。ただ、それだけ。1992年7月29日午前10時頃、今住んでいる自宅のキッチンで、ボクはイエス・キリストの福音を信じました。イエスがボクのために、カルバリーの十字架の上で血を流されたと、信じたのです。その日、ボクは救われ、それ以来ボクは、自分が救われていると知っています。それは、自分の働きによるのではなく、誰かがボクに、救われていると言ったからでもないのです。どうすれば救われ、どうすればそれが分かるかが、聖書に書いてあるからです。

ということで、今日は、どうすれば救われていると知ることが出来るのか？についてお話ししました。あと、いくつかの聖句をお伝えしたいと思います。多くの方がこう言います。

「私は長年クリスチャンをしているけど、常に不安で仕方がない。」

あなたはどうか？いくつかの聖句をご紹介しますので、これを見て、ご自分が救われているかどうか、確認してください。

**2 神は言われます。「わたしは、恵みの時にあなたに答え、救いの日にあなたを助けた。」
確かに、今は恵みの時、今は救いの日です。**

(第二コリント 6:2)

あなたの人生にも、時があるのです。あなたが救われた日が。まず、自分が迷い出ていることに気付く。次に、行いではなく信仰による事を知り、そして福音を聞く。あなたの人生でそれが起こったのはいつですか？

「ええと、〇月〇日だな。」

あなたが福音を聞き、信じた時を知っているなら、それは素晴らしい。でも、きっちり日にちが分からなくても良いのです。知っているに越したことはありませんが。多くのクリスチャンが言うのです。

「今までに福音が伝えられるのを聞いたことがない。子どもの頃、お母さんが言うとおりに祈りなさいと言ったので、その通りにしたら、それで救われたと言ったので、お母さんのいう事をそのまま信じてきました。でも、自分が迷い出ていたなんて、考えたこともなかった。ただ母に言われるままに祈っただけです。」

また、別の人はこんなことを言っていました。

「自分の行いでなく、イエスが成されたことだなんて、考えもしなかった。今まで福音を聞いたことがありません。」

そして、多くの人が言うのです。

「たった今！自分が迷い出ていたことに気づいて、救われたよ！」

また、たくさんのメールも受け取ります。

「ブレイカー兄、動画をありがとうございます。動画を観たおかげで、これまでイエス様が成されたことではなく、自分の働きを信じていたことに気づきました！今は自分が救われているのが分かります。また、自分がいつ救われたのかも分かります。」

ボクは、あなたが救われているとかいないとか言っているのではありません。あなたの救いを疑わせようとしているのでもありません。あなたが救われているのなら、神を賛美しましょう。でももし、疑問に思っているのなら、それは問題です。疑問とは、信仰の反対だからです。そして多くの場合、自分の救いに不安を感じる時は、自分の行いが十分かどうかを心配しているからで、

「救われるために、十分頑張ったか？」

これは間違った思考で、福音を理解していない証拠です。福音は、イエスが全てを成し遂げたと伝えていきますから。人がどれだけ頑張っても、絶対に届かない。だから、ただ主のしてくださったことを信じなければならぬのです。ですから、自分の救いが確かではない人、

「私は救われているの？」「ボクは救われているのだろうか？」問題は、彼らは恐らく救われていません。ボクは、彼らが救われているとかいないとか言っているのではなく、その可能性が高いということです。彼らが救われていないのは、彼らが「救われる」ことの意味を理解していないからです。なぜなら、救われていれば疑う余地はないのです。救われ

たのなら、これは自分の働きではなく、主の働きなんだと分かるからです！自分の力で救いを勝ち取ることは不可能です。ただ主が与えてくださる、無償の賜物を信頼するのみだと、気づくのです。

御言葉を読めば、自分が救われているかどうかがわかると聖書には書かれています。罪の中に生きているクリスチャンがいます。そして、自分たちが罪の中に生きているために、彼らは自身の救いに確信が持てないでいるのです。あなたがすぐわれているのかどうか、ボクには分かりません。しかし、一つ言えることは、恐らくあなたは聖書を読んでいない。先ほども読んだ、同じ箇所を、もう一度読んでみましょう。

13 私が神の御子の名を信じているあなたがたに対してこれらのことを書いたのは、あなたがたが永遠のいのちをもっていることを、あなたがたによくわからせるためです。

(第一ヨハネ 5:13)

どうすれば分かるのか？聖書を読めば、分かります。聖書を読んでいますか？聖書には、どう救われるかが書いてあります。そして、聖書を読めば読むほど、それが真実であることが分かります。ですから、救われてからも、罪の中に生きているために、自分の救いが不安になる人はいるでしょう。あつてはならないことですが、でも、救いを疑うほとんどの場合は、元々救われていない。特に今の時代、様々な違った福音が伝えられていますから。

35 それを目撃した者があかしをしているのである。そのあかしは真実である。その人が、あなたがたにも信じさせるために、真実を話すということをよく知っているのである。

(ヨハネ 19:35)

ここで、聖書とは記録だということが分かります。ヨハネ 20:31 を見てみましょう。

31 しかし、これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるため、また、あなたがたが信じて、イエスの御名によっていのちを得るためである。

(ヨハネ 20:31)

ということで、我々は信じるのです。なぜなら、聖書にそう書いてあるから。ローマ書 10章にも良いことが書いてあります。だから、聖書を読むのは、とても大切なのです。さっきも言いましたが、クリスチャンでありながら、救いに不安がある人は、恐らく罪の中に生きているからというのと、聖書を読んでいないのでしょう。自分が救われているのかどうか知りたいのなら、聖書を読めば、その知識は得られるのです。読めば読むほど、確信が持てるでしょう。神がそう言っていますから。ローマ 10:15~17 にはこうあります。

15 遣わされなくては、どうして宣べ伝えることができるでしょう。次のように書かれています。

「良いことの知らせを伝える人々の足は、なんとりっぱでしょう。」

16 しかし、すべての人が福音に従ったわけではありません。「主よ。だれが私たちの知らせを信じましたか」とイザヤは言っています。

17 そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。

(ローマ 10:15~17)

だから、あなたが救われる前に、誰かが福音を伝える必要がある。そして、

17 そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。

(ローマ 10:17)

あなたは今日、福音を聞きました。または、以前、これを聞いて「はい。信じます」と言ったのなら、良かった！あなたは救われていると分かりました！でも、「今までに、一度も聞いたことがない」と言うあなた、それなら、今日救われましょう。今日が救いの時、これらは記録なのです。それを見た人たちが、見たことを記録した。人となって来た神、イエス・キリストは死に、聖書によれば、三日目によみがえり、主が流した血と、それを信じることによってのみ救われる。

次に、ボクが救われた聖句が、ローマ書 3:25 です。24 節から読みましょう。

24 ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、値なしに義と認められるのです。

25 神は、キリスト・イエスを、その血による、また信仰による、なだめの供え物として、公にお示しになりました。それは、ご自身の義を現すためです。というのは、今までに犯されて来た罪を神の忍耐をもって見のがして来られたからです。

(ローマ 3:24~25)

「なだめ」という言葉が出て来ました。「なだめ」とはどういう意味ですか？それは、怒りを鎮めるための行為です。つまり、イエス・キリストが、我々の代わりに「なだめ」となったのです。主の死、主の捧げものが、偉大なる神の御怒りをなだめるものとなり、神はその犠牲に満足されたのです。どういうことでしょうか？それは、あなたがもし、イエスを信じ、救い主の元へ来るなら、地獄へ行くことは絶対にありません！なぜなら、イエスがあなたの罪を全て被ってくださったからです。主は、あなたの地獄をあなたの代わりに、十字架で受けてくださいました。だから、神の御怒りがクリスチャンに注がれることはな

いのです。あなたの罪に対する、神の御怒りは十字架の上に注がれたからです。イエス・キリストはあなたの代わりに死にました。

25 **神は、キリスト・イエスを、その血による、また信仰による、なだめの供え物として、公にお示しになりました。**

(ローマ 3:25)

神にとっては、それで十分だったのです。問題は、あなたにとっても十分ですか？イエス・キリストの死、埋葬、よみがえり、流された血が見えますか？あなたの罪を贖うには、これで十分です。救われるには、これだけで十分だと信じていますか？もし信じるなら、あなたは救われています。主が、すべてを成してくださったことをあなたが知り、主のしてくださったことをあなたが信じたからです。これで、あなたは救われていると分かります。ヘブル人への手紙 10 章にはこうあります。はっきりと書かれていて、否定できないでしょう。

12 **しかし、キリストは、罪のために一つの永遠のいけにえをささげて後、神の右の座に着き、**

(ヘブル 10:12)

つまりこれです！この一回で全ての罪が贖われました。

12 **…罪のために一つの永遠のいけにえをささげて後、神の右の座に着き、**

13 **それからは、その敵がご自分の足台となるのを待っておられるのです。**

14 **キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって、永遠に全うされたのです。**

(ヘブル 10:12~14)

だから、救われたなら、あなたは聖とされているのです。それも永遠に、です。これは永遠の保証です。聖書にははっきりと書かれています。いったん福音を信じたなら、あなたは救われ、それが失われることはありません。あなたは自分が救われていると分かります。なぜなら、救われるためには何を信じるべきなのかを、あなたが理解し、自分の行いでは絶対に天国には行けないことを理解したからです。そして、イエス・キリストが我々を救うためにしてくださったことを信じました。自分が救われ、天国に行くことを知る。これは本当に素晴らしいことです。エペソ人への手紙 1:13 には、信じた後に何が起こるか、書いてあります。

13 **この方であってあなたがたもまた、真理のことば、あなたがたの救いの福音を聞き、またそれを信じたことにより、約束の聖霊をもって証印を押されました。**

(エペソ 1:13)

この順番が分かりますか？

① 福音を聞かなければ救われない。

17 **そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。**

(ローマ 10:17)

② 福音を聞いたとき、あなたは信じた

③ 信じた時に、聖霊をもって証印を押されます。

多くの人がここで生きていて、福音を聞いたことがありません。そして、自分は良い人だと思っています。生まれた時から正しく生きてきたと言い、自分が迷い出ているなんて、全く気付いていないのです。そして、福音を聞いたことがない。

次に、第二テモテ 1:9 にはこうあります。

9 **神は私たちを救い、また、聖なる招きをもって召してくださいましたが、それは私たちの働きによるのではなく、ご自身の計画と恵みによるのです。**

(第二テモテ 1:9)

人は働きによっては、救われません。ボクが言えるのは「聖書には何と書かれているか」だけです。

13 **…これらのことを書いたのは、あなたがたが永遠のいのちをもっていることを、あなたがたによくわからせるためです。**

(第一ヨハネ 5:13)

自分の働きで救われると思っているなら、分からない。救われているかを知る唯一の方法は、聖書を読むことです。

17 **…信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。**

(ローマ 10:17)

救われるためのみことばを信じるのです。

9 **…ご自身の計画と恵みによるのです。この恵みは、キリスト・イエスにおいて、私たちに永遠の昔に与えられたものであって、**

- 10 **それが今、私たちの救い主キリスト・イエスの現れによって明らかにされたのです。キリストは死を滅ぼし、福音によって、いのちと不滅を明らかに示されました。**
- 11 **私は、この福音のために、宣教者、使徒、また教師として任命されたのです。**
- 12 **そのために、私はこのような苦しみにも会っています。しかし、私はそれを恥とは思っていません。というのは、私は、自分の信じて来た方をよく知っており、また、**
- その方は私のお任せしたものを、かの日のために守ってくださることができると確信しているからです。**

(第二テモテ 1:9~12)

パウロは、自分が救われていることを知っていると言いました。問題は、あなたは自分が救われているかどうか知っていますか？ボクは、自分が救われていると確信しています。あなたは確信していますか？この動画が、あなたが救いを知るのに役立つように祈ります。もし、救われていないのなら、救われるのはとても簡単です。ただ、イエス・キリストの福音を信じるのです。でも、それには悔い改めが必要です。「悔い改め」とは、方向を変えるという意味です。何かに対して、申し訳ないと思う事です。あなたにお聞きします。あなたは、イエス・キリストを殺したことを、申し訳なく思っていますか？これは、基本です。主は、あなたのために死なれ、あなたには、主の死に対する責任があります。そのことで、心が痛みますか？もし、心が痛むのなら、あなたは悔い改めています。次に、それを信頼し、自分の働きを信頼するのを止めたなら、それが悔い改めで、自分の働きを信頼する方向から、イエスが成されたことを信頼する方に方向変換したのです。あなたは、それまで自分の働きを信じて、地獄へと向かっていました。もし、イエスを信じるなら、天国へと向きます。ここで、方向転換するのです。多くの人が「悔い改め」の意味を知りません。聖書には、こうあります。

- 31 **…「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」…**
(使徒の働き 16:31)

キリストにあって、真理のことは、すなわち、あなたがたの救いの福音を聞き、

- 13 **…またそれを信じたことにより、約束の聖霊をもって証印を押されました。**
(エペソ 1:13)

つまり、福音を信じることで救われるのです。あなたは福音を信じますか？あなたは、イエス・キリストと、主が成されたことが十分だと信じますか？あなたは、それを喜んでいますか？主が、あなたの身代わりになってくださって良かったと思いますか？あなたはそれを受け入れますか？それともまだ、自分は善人で、福音とは関わりたくもないと思いますか？イエス・キリストを受け入れるのか、拒絶するのか、選ぶのはあなた自身です。福音

を信じて、受け入れる。でも、言っておきます。福音を受け入れない、福音を信じないという事は、イエス・キリストを拒絶するということです。主が、あなたのために成されたことを、あなたが拒絶するなら、主も、あなたを拒絶します。出来るだけ簡潔にまとめてみましたが、自分が救われているかどうかを知る方法が、お役に立てれば幸いです。唯一、それを知る方法は、みことばを通してのみです。最後に、第一ヨハネ 5:13 で締めくくりたいと思います。

13 私が神の御子の名を信じているあなたがたに対してこれらのことを書いたのは、あなたがたが永遠のいのちをもっていることを、あなたがたによくわからせるためです。

(第一ヨハネ 5:13)

あなたは、自分が救われているかどうか、わかりますか？神の祝福がありますように！
thecloudchurch.org では、英語とスペイン語でメッセージをお届けしています。それでは！

このメッセージは The Cloud Church.org の Pastor Robert Breaker が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。他のメッセージを聴きたい方は、「The Cloud Church」(英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by Pastor Robert Breaker/The Cloud Church : <http://www.thecloudchurch.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO